



入社 6カ月未満の 離職に注意!

4

月の入社月と5月のゴール
デンウィーク明けは、例年

新入社員の退職が増える時期だ
がいかいだらう。配属先の
OJTが始まったばかりの時期
で、連休中は「この会社でよかつ
たのか」と、振り返る機会になり、
その結果一挙に離職者が増えるの
だ。しかも今は本人に代わり退職
の意向を伝える「退職代行サービ
ス」という便利なツールもある。
退職代行業大手の「モームリ」の
2024年4月と5月の新卒社員
を含めた依頼件数は約3,700
人。今年は4月だけで3,000人
前後に増えた。うち新卒が14%を
占め、入社6カ月未満が6割を占
める。

一般的に新人や若手社員が退職
する理由は、①労働条件に不満が
ある、②思っていた会社の雰囲気
や仕事の内容と違う、③先輩・上
司など職場の人間関係が合わない、
の3つとされる。「モームリ」
が公表している辞めた理由にも似た
ような事例がある。①では「入社前
に聞いていた出勤日数、休日日数と
入社後に受けた説明の内容が違つ
た」(製造業・女性)というケース。
今の若者は労働条件に敏感だ。少し
でも会社の説明と食い違つとブラッ
クかもと思ひ、すぐに退職してしま
う。②では研修合宿で「意味もわか
らず7時間で約30km歩かされて辞め
た」(営業・女性)というケースがあつ
た。スパルタ研修には驚くが、今の
新人は何のためにやるのか意味がわ
からない、不可解、理不尽と感じれ
ば退職の引き金になる。③は「人間
関係が非常に悪く、相談する相手も
いなかった。助けを求めることがで
きなかった」(教育関連・女性)と
いうケースもあつた。

新人は仕事に対する様々な不安を
抱え、孤独だ。仕事の悩みを言い出
せない人も多く、少なくとも仕事に
慣れるまでは手厚い支援体制が欠か
せない。